



スクールリポート

SCHOOL REPORT 41
 学校生活の
 一コマを紹介

今回は、小学校で宿泊体験を通してふるさと学習に取り組む様子と、全校で農業体験活動に取り組む様子をご紹介します。

●学校教育課 ☎ 23局3679

赤羽根小学校「ふるさと学習宿泊体験」

豊かな心を育むふるさと学習！

9月14日(水)～16日(金)、5年生20名は、田原市の姉妹都市・設楽町にあるつぐ高原グリーンパークで2泊3日の宿泊体験を行いました。

3日間とも天候に恵まれ、山の大自然を味わうとともに、豊かな自然の中でさまざまな体験を通して、仲間との絆をより一層深めることができました。子どもたちは、キャンプファイヤーに飯ごう炊さん、ニジマスつかみに五平餅作り、ボールペン作りやコースター作りなどに挑戦しました。初めて取り組むことばかりでしたが、仲間と協力したり助け合ったりすることの大切さを体得するよい機会になりました。

子どもたちは、宿泊体験で、仲間とのふれあいを通して山の良さを知り、ふるさと赤羽根の良さを再確認できたようです。今後も、ふるさとや自然を大切にする豊かな心を育んでいきたいと思います。



●協力したニジマスつかみで、もっと仲良しに！



●火の神からのキャンプファイヤーの点火式



●縦割り班での「イモほり集会」



●全校児童のイモを焼く6年生

大草小学校「農業体験活動」

大豊作だった学級園での野菜づくり！

大草小学校では、毎年、学級園での野菜づくりに取り組んでいます。しかし、ここ数年、連作の影響などで水はけが悪くなり、病虫害にも悩まされ、野菜の出来栄が今ひとつとよくありませんでした。そこで、昨年「魅力ある学校づくりプロジェクト事業」で畑の整備を行い、土の入れ替えを行いました。そのおかげで、今年は野菜が見違えるほど元気に育っています。

「すごく高いね！」と天高く伸びたヒマワリを見上げる子。「どんどん出てくるよ」とサツマイモを掘る子。毎年、学級園では、ミニトマトやカボチャ、キュウリなどを栽培していますが、今年はどの作物も例年の2～3倍の収穫量で、殺虫剤などの農薬もほとんど使わずに済みました。

11月の焼きイモ集会では、大きく育ったイモを焼き、全校でおいしく食べました。子どもたちも職員も大喜びの農業体験となりました。これからも、この学校園を生かした体験活動を続けていきたいです。